

このサイトに辿り着いたあなたは、
おそらく「怪しさ」を感じているはずです。

それでもこのページを開いたのは、
「株で利益を出したい」という強い想いがあるからでしょう。

はじめまして。私は皆さんと同じ「個人投資家」です。

仕手筋（投資ファンド）とは一切関係ありません。ただ、彼らの思考回路が身につくほど分析し尽くしてきただけです。

このサイトの目的は、ただ一つ。「利益の共有」です。

あなたと同じ投資家として、自立した投資家が一人でも多く生まれることを心から願っています。

「億」という響きへの憧れ。
すべての始まりは、
ごく普通のサラリーマンでした。

2002年、春。

投資との出会い。当時は営業職のサラリーマンでした。

将来への疑問

先輩たちの姿から、自分の将来の年収が見えてしまいました。「年収1000万くらいが大きな壁だな」と感じ、なぜかそれで十分だとは思えませんでした。

野心

お金への執着は当時からあったと思います。

「億」という響きに憧れ、常に「何か他に稼げることはないか」と探していました。



成功者たちが皆やっていたこと。それが「投資」だった。

きっかけ

異業種の交流会で出会った「稼いでいる人たち」は、皆、投資をしていました。当時はデイトレブームの始まりの頃。

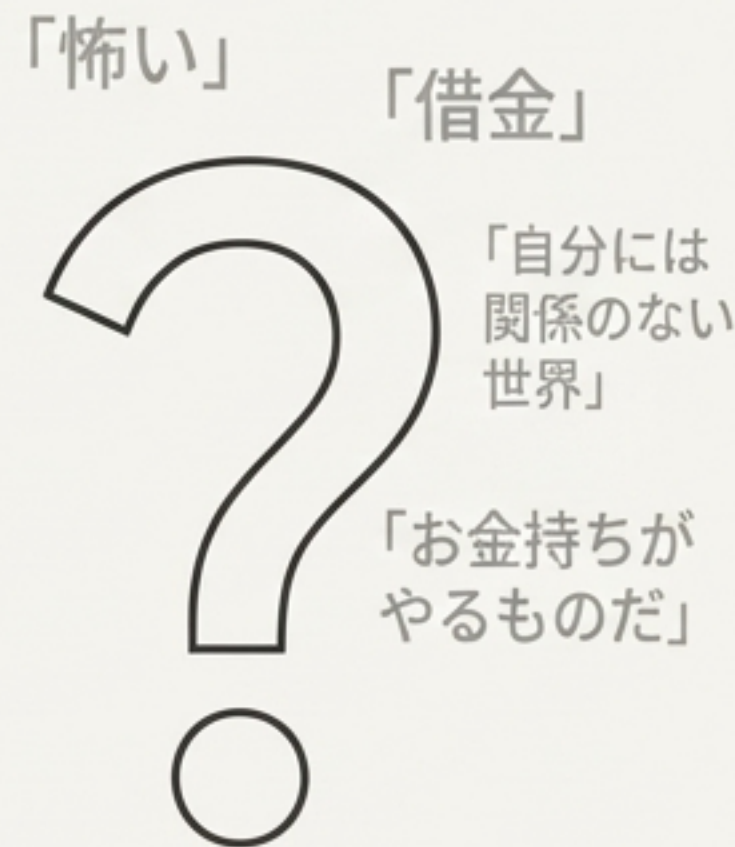


原動力

それでも興味を惹かれたのは、たった一つの可能性。「億を稼げるかもしれない」から。

先入観との葛藤

しかし、すぐには行動できませんでした。頭にあったのは「怖い」「借金」「自分には関係のない世界」「お金持ちがやるものだ」というイメージ。



「納得しなければ行動できない」 性格が、私を本屋へ毎日通わせた。

徹底的な下調べ

納得するまで行動しない性格のため、仕事の合間を縫ってひたすら本屋で投資関連の書籍を立ち読みしました。

3ヶ月間の没頭

週末以外、ほぼ毎日。営業職の特権を利用し、最低限の成績だけ残して、残りの時間はすべて投資の勉強に費やしました。

時代の空気

当時、同じようにスーツ姿で本屋に来ている営業マンらしき人を何人も見かけました。ブームだったことは確かです。



口座開設、そしてデイトレへの挑戦。 しかし、そこには理論がなかった。

最初の行動

手数料無料キャンペーンを利用し、証券口座を5社ほど開設。しかし、実家に届いた本人確認書類で親にバレて当然反対されました。「無料だから」と誤魔化しましたが、実際は100万円単位で入金していました。

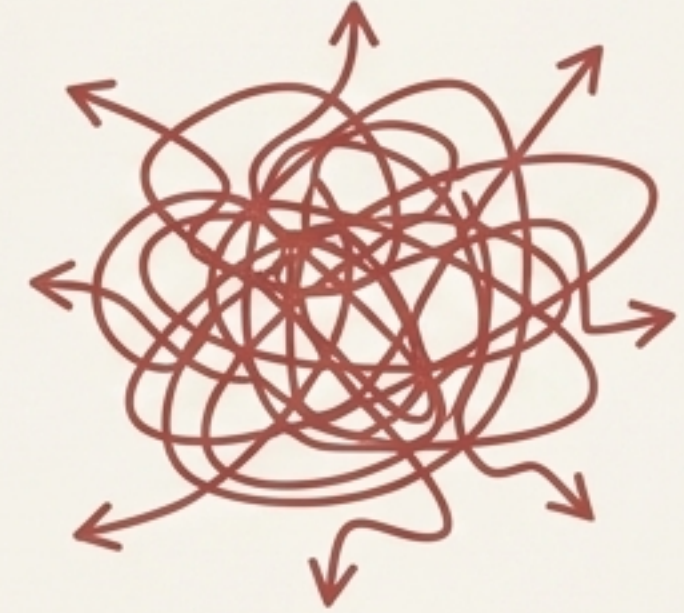
デイトレの現実

ブームに乗りデイトレに挑戦。しかし、取引手数料の高さと、取引銘柄に何の法則性もないことに苦痛を感じました。

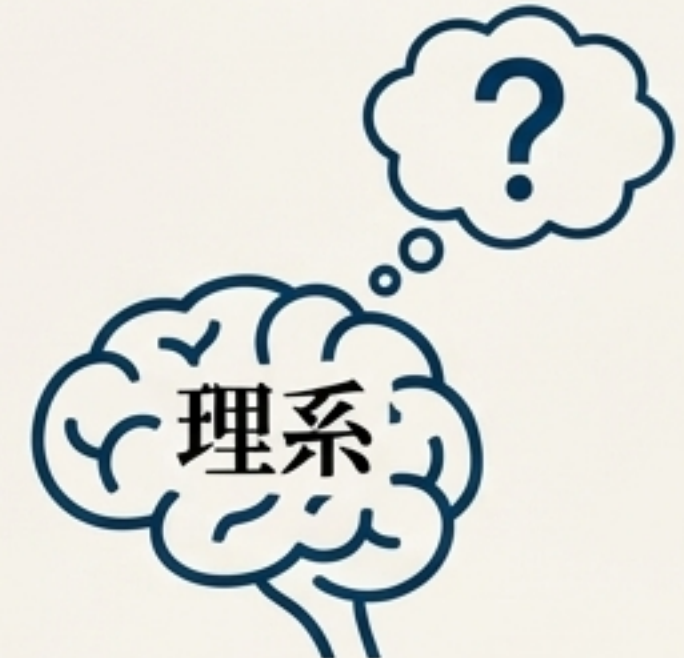
理系の壁

「突然値上がり率ランキングに顔を出した銘柄」を取引することに納得できなかったのです。物事に理由を求める「理系」の頭では、理論のない手法は続けられませんでした。

デイトレの現実

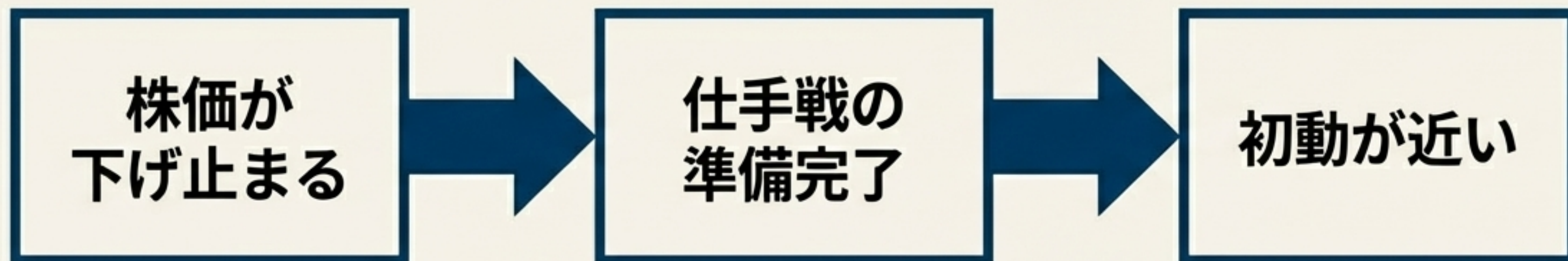


理系の壁



仕手株との出会い。「こうなったら、こうなる」
という数学の証明のような世界。

デイトレに挫折し、次に出会ったのが仕手株でした。
仕手株は、分析すればするほど理論がしっかりありました。



例えば、「株価が下げ止まったら初動が近い」。これは、「下げ止まる＝仕手戦開始の準備が完了」という理論が成り立つからです。一つ一つが理論的に説明できないと行動できない性格に、仕手株は完璧に完璧に合っていました。

2005年、凄まじい上昇相場。 実力だと信じ込み、会社を辞めた。

絶好のタイミング

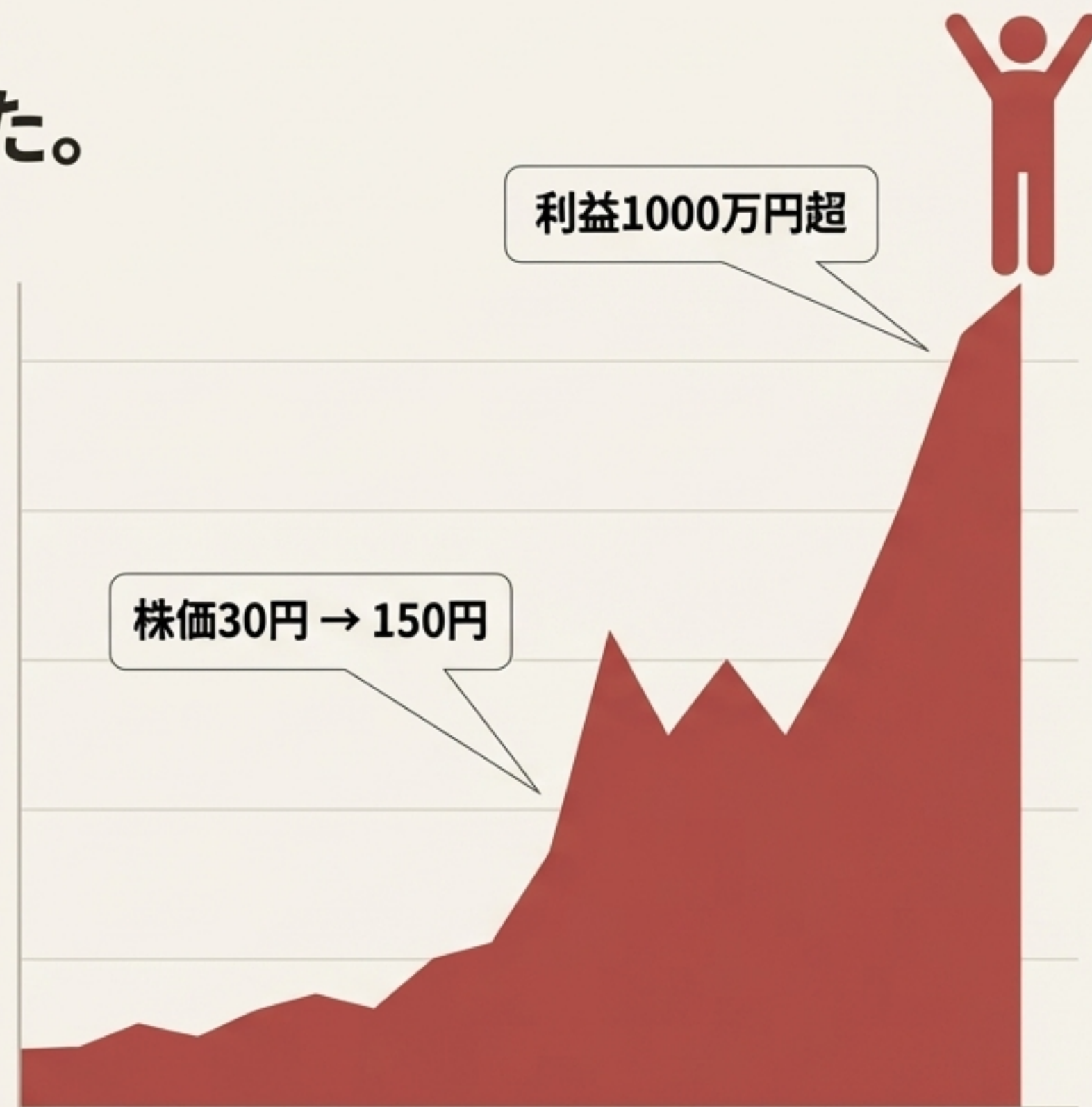
投資を始めた2002年～2003年は日経平均の底。
2004年～2007年は驚異的な上昇相場でした。

驚異的な利益

当時の超低位株（株価50円以下）は「株価30円
が数ヶ月で150円に」なるような世界。1銘柄に
全資金を集中させ、1週間でサラリーマンの年収
以上を稼ぐこともありました。

大きな勘違い

「5721 エス・サイエンス」で1000万円以上の利
益を出し、専業投資家に。当時は、この成功が「
完全に自分の実力だ」と舞い上がっていました。

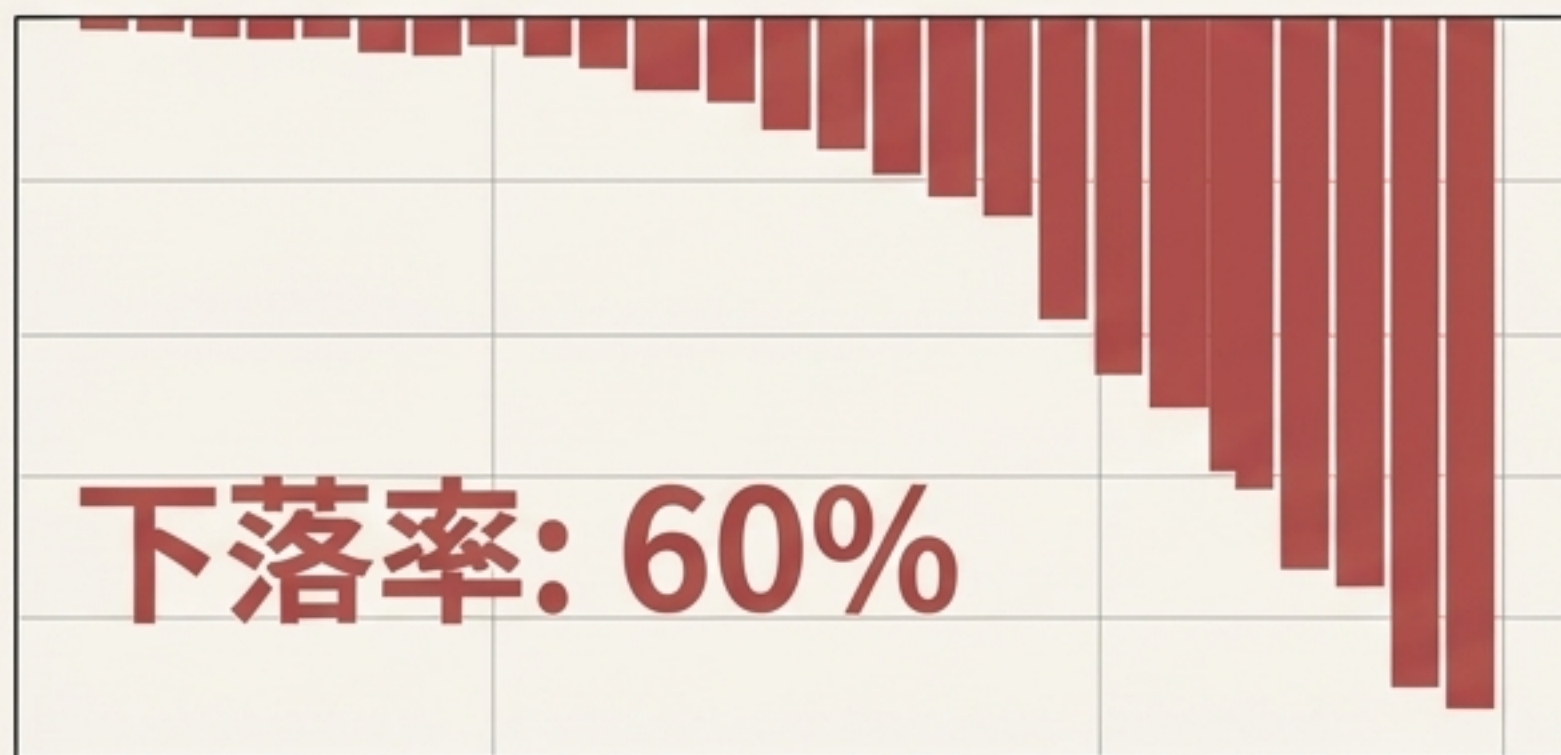


そして、絶望が訪れる。リーマンショックという現実。

コロナショックが「大きな下落」と感じた方は、リーマンショックの本当の恐ろしさを知らないかもしれません。下落率で比べてみてください。

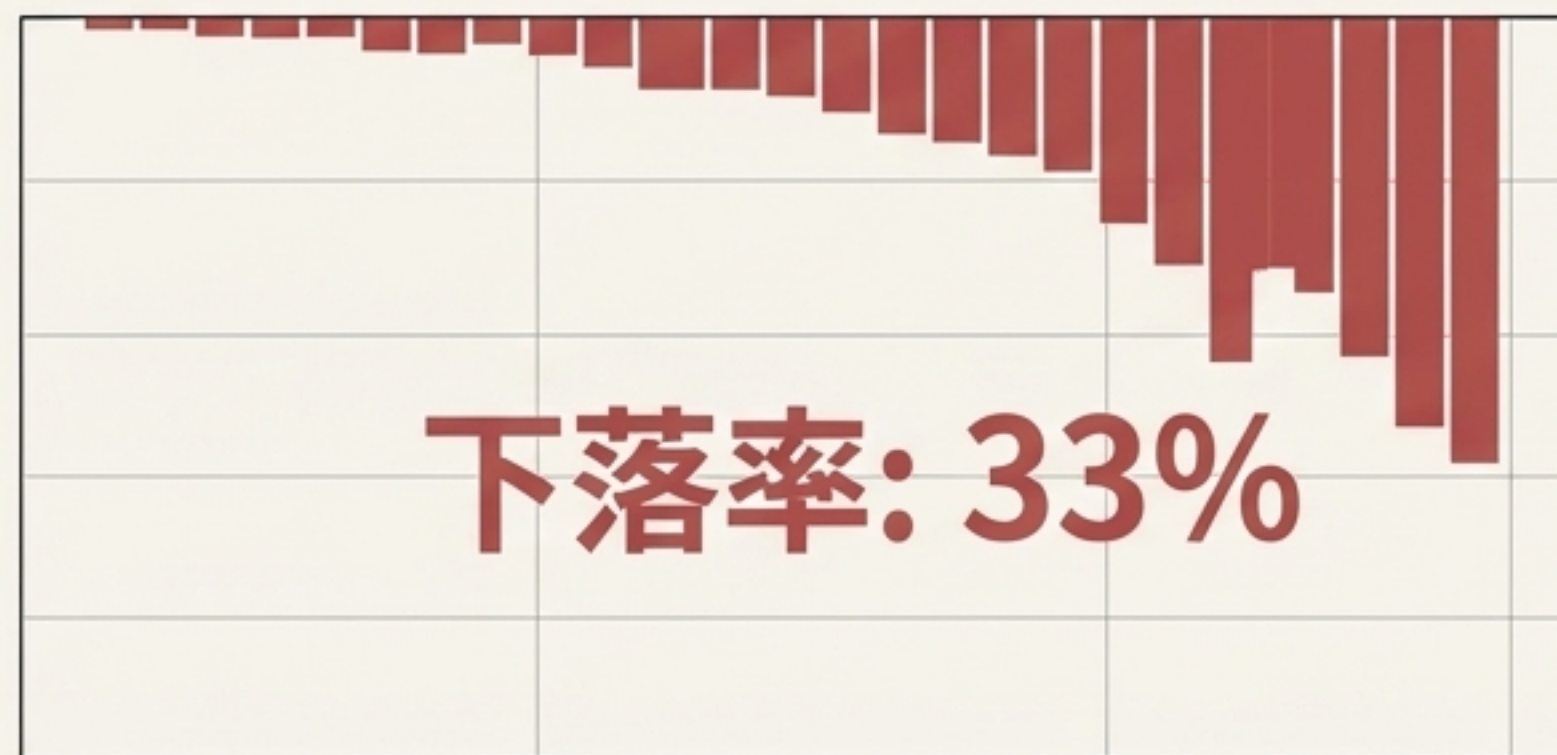
リーマンショック (2008)

日経平均：18,000円 → 7,000円



コロナショック (2020)

日経平均：24,000円 → 16,000円



コロナショックは、リーマンショックのおよそ半分の下落率でしかありませんでした。

**## 投資資金は半減。スキルへの自信は、
木っ端微塵に碎け散った。**

順調に増えていった資産が、わずか半年で半分になりました。人生最大の精神的ショック。
今まで自分のスキルで利益を出していたという自信が、全否定され崩れ落ちました。
まさに絶望でした。

そして、痛みを伴う真実に気づきました。

**「正しく解釈すれば、自分のスキルではなく
上昇相場によって利益が出ていたにす
すぎなかった」**

絶望の底で得たもの。それは、投資哲学の「進化」でした。

この大きな失敗のおかげで、私は取引方法を根本から見直すことができました。それは、曖昧な期待から、揺るぎない根拠へのシフトです。

BEFORE: 「上昇しそう」の投資



- * 感覚と期待に基づく取引
- * 上昇相場でしか通用しない
- * 感情に左右され、利益が不安定

AFTER: 「確信」を求める投資



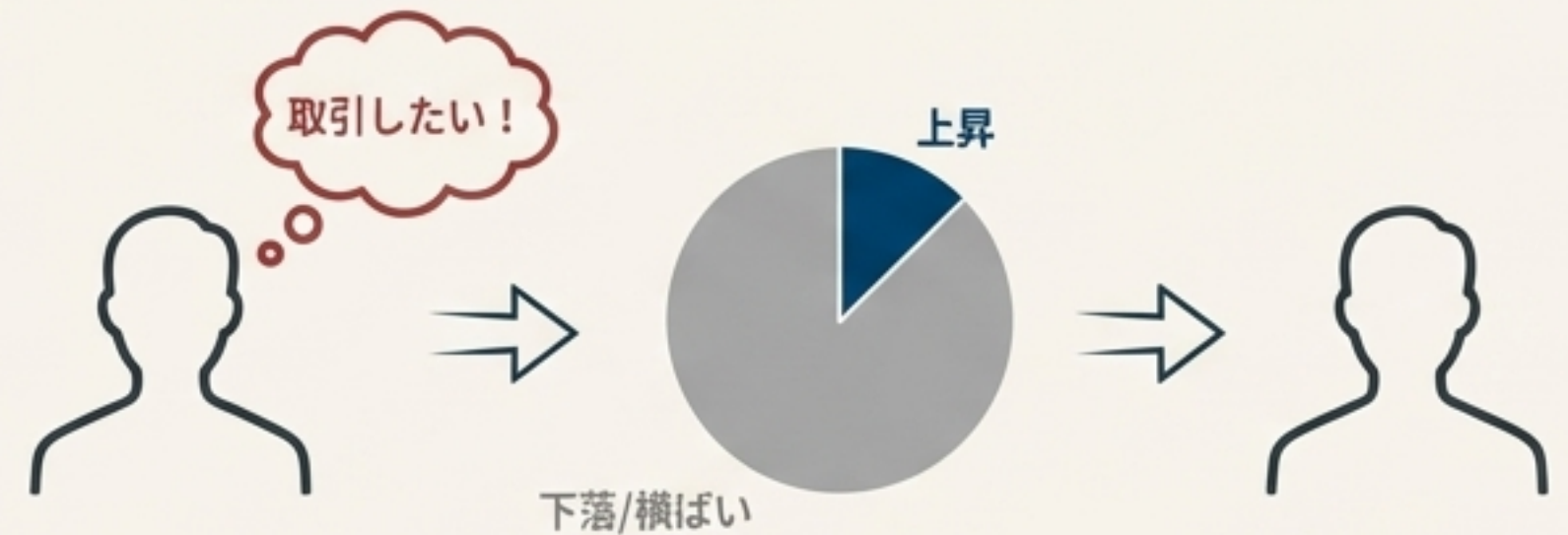
- * データと確率統計学に基づく取引
- * どんな相場でも機能する
- * 感情を排し、「継続した利益」を目指す

最大の敵は「取引してしまう欲」。 理系人間を納得をさせたのは、統計データだった。

新しい哲学を実践するのは簡単ではありませんでした。日々相場を見ていると「上昇しそう」な機会に何度も遭遇します。その度に「『しそう』ではダメだ」と自分に言い聞かせる日々。そこで「『上昇しそう』で取引した場合、その後どうなったか」の統計を取り続けました。

結果: データは明確でした。多くは値を戻すか、さらに下落する。

大発見: 証明されたデータを見て、あれほど苦しんだ欲が嘘のようになりました。「理系人間は、数字で示されたデータに素直に従うんだ」と気づいた瞬間です。



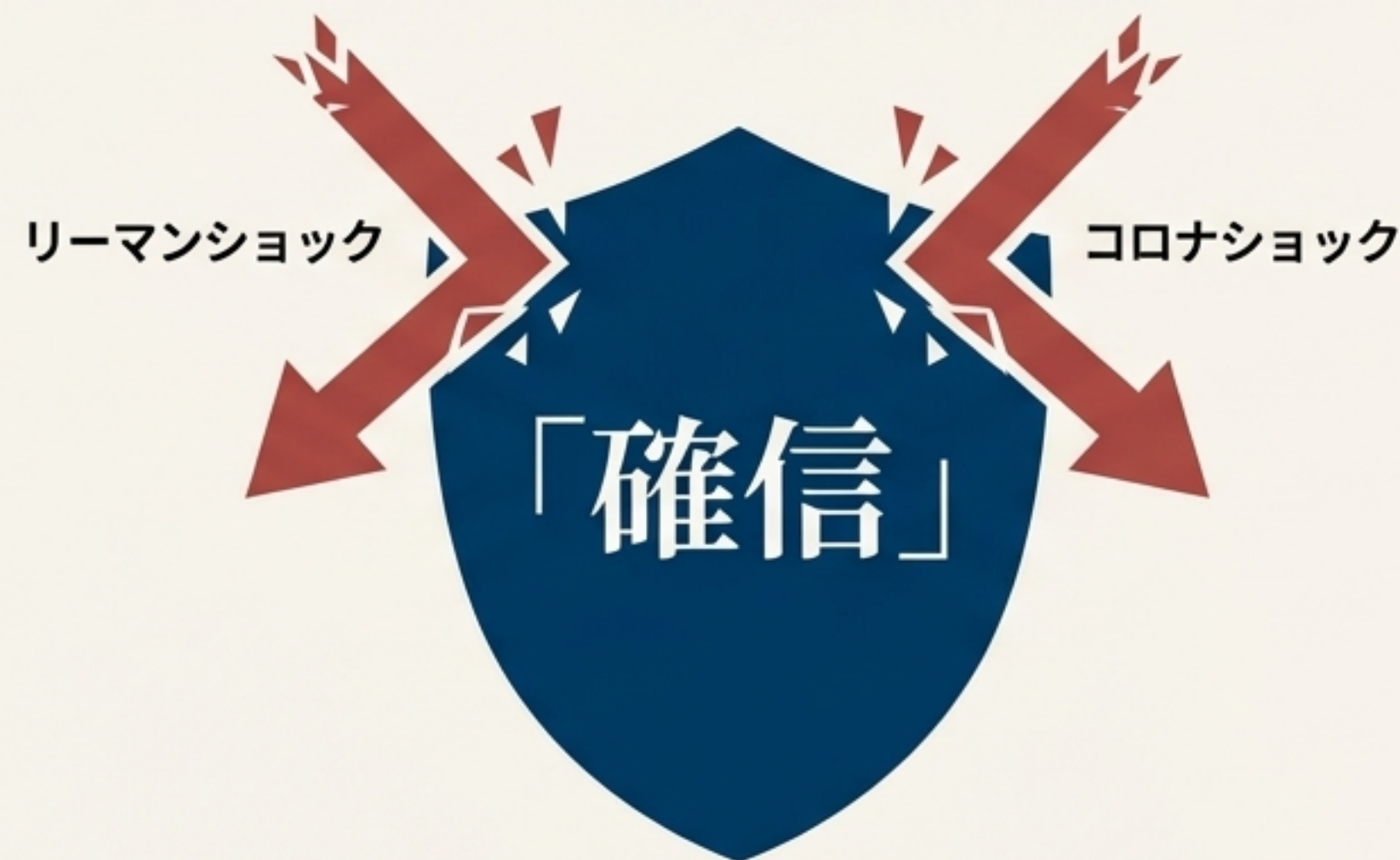
「確信を追い求めた株式投資法」の完成。 そして、コロナショック後も機能した。

リーマンショックの絶望があったからこそ、
この投資法は生まれました。

確率統計学を駆使し、取引の精度を上げることを
考える。

「上昇しそう」という曖昧な根拠を排除し、
「確信」がある時だけ取引する。

この方法は、次の試練であったコロナショックでも、
その有効性を証明してくれました。



この進化によって、「利益」 → 「継続した利益」へと変わったのです。

私の新たな使命。それは、 自立した投資家を一人でも 多く誕生させること。

投資家として成功することよりも、そのスキルを使って、かつての私のように苦しんでいる多くの投資家に、自分のようになってほしい。

その想いを形にしたのが、このサイト「仕手株.コム」です。

目的は「利益の共有」：私のスキルを余すことなく伝え、あらゆる意味で自立した投資家の誕生に少しでも力になりたい。

有料コンテンツがあるのは、ボランティアではないことの証明であり、手を抜けないという自分への緊張感を課すためでもあります。



あなたの旅をサポートする、2つの道。

このサイトは、あなたのステージに合わせて活用できるよう設計されています。



無料公開

「出来高を伴って大きな動きをした銘柄」の詳細を、ほぼ毎日公開。
まずは、ここで我々の分析の視点に触れてみてください。



有料企画・書籍

無料の内容に共感・納得していただけた方へ。
株価動向の理由、投資心理、仕手筋の傾向などをより詳細に解説。
「継続した利益」を出すために必要な思考のすべてを共有します。

もし、あなたがコロナ
ショックで損失を出し、それでも
未来を変えたいと願うなら。

大きな失敗は、取引方法を大きく見直す最高のきっかけになります。時間はかかるかもしれませんが。しかし、それだけの価値（得られる利益）は十分にあります。私がリーマンショックを乗り越え、新たな手法を確立したように。投資の世界で生き残るために、今こそ、あなたの取引を進化させてみてください。



「上昇しそう」から、「確信」の取引へ。